

*Newsletter*

学会会報

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局

## &lt; 目 次 &gt;

- ・ 理事会報告
  - (1) 第 16 回大会プログラムについて
  - (2) 学会誌第 14 号編集状況
  - (3) 学会賞
  - (4) 理事選挙
  - (5) その他（国際交流委員会、ほか）
- ・ 事務局から

## &lt; 理事会 報告 &gt;

[ 2005 年 3 月 5 日(土)午後 1 時半～ 4 時半 (於) 早稲田大学教育学部 ]  
 今年度 3 回目の理事会が 3 月 5 日(土)午後 1 時半から 4 時半まで、早稲田大学教育学部 16 号館 612 号室で開催されました。

[ 議題 ]

(1) 第 16 回大会プログラムについて

大会日程について、浅沼大会実行委員会事務局長から説明があり、プログラムについてはすでに郵送された通りであるが(下記参照)、大学の食堂は 18 日(土)も利用できないことが判明したため、プログラムの発送時に周知する必要があることが確認された(ただし、懇親会場は生協の大食堂で行われることから、再度利用可能性を確かめる旨、浅沼事務局長から補足説明があった)。

2005 年 6 月 17 日(金)	17:00～19:00	理事会(夕食を含む)
6 月 18 日(土)	10:00～12:00	課題研究 ・
	12:00～13:00	昼食
	13:00～15:00	自由研究発表
	15:10～17:40	公開シンポジウム
	18:00～20:00	懇親会
6 月 19 日(日)	9:30～11:30	自由研究発表
	11:30～12:30	総会・昼食
	12:30～15:00	課題研究 ・

また、今大会は例年より開催期日が早く、自由研究の発表申し込みおよび要旨集録原稿の提出期限が例年より 2 週間早いことも会員に一層周知する必要があることが確認された。

課題研究ならびに公開シンポジウムの提案者とその発表題目について、世話人から提案があり、審議の結果、以下のような内容で行うこととした。

1) 課題研究

課題研究 : 「カリキュラム経営と学校づくり」

(世話人) 中留武昭理事、小泉祥一理事

(趣旨): 地方分権の時代を迎え、学校の自主性・自律性の内実が改めて問われており、各学校においてもカリキュラム経営を中心とする学校経営の推進と改善が大きな課題となってきた。このような今日の状況に鑑み、昨年は、「カリキュラム経営と教師の力量形成」というテーマのもとに、カリキュラム経営の動向と実態について教師の力量形成の視点から検討した。

今年度は、昨年度の議論と成果を踏まえ、自律的な学校づくりを支えるカリキュラム経営について考察したい。子どもや地域の事情に対応したカリキュラムづくりを進めるために、どのようなカリキュラム経営が行われているか、その実態を、事例校分析を通して明らかにするとともに、カリキュラム経営を成立させ、あるいは統制している条件や要因について調査研究を通して検討することにしたい。

課題研究 : 「カリキュラム研究の基礎を問う その2

- カリキュラム研究における「子ども」の位置 - 」

(世話人) 梅原利夫理事

(趣旨) 本課題研究では“カリキュラム研究”そのものを取り上げ、数回(数年)にわたって、研究方法や意義について議論を進める。第2回の今年度は、テーマを原理的・歴史的・実践的な視野から探究しようとするものである。

課題研究 : 「目標に準拠した評価の課題 - スタンダードをめぐる視点 - 」

(世話人) 寺西和子理事、田中耕治理事

課題研究 : 「新しいカリキュラム研究の模索と展望」(仮)

(世話人) 橋本美保(東京学芸大学)、澤田稔(名古屋女子大学)

(趣旨) 「カリキュラム」概念が拡大する方向にある中で、従来のカリキュラム研究の枠には収まらない種類の研究も、今後のカリキュラム研究の視野に入れていく必要を感じる。例えば、W.Pinar の「自己の履歴」としての「カリキュラム」概念を深化拡充する方向、「脳科学」の成果を視野に入れたカリキュラム研究、文化・民族・歴史などにおける西欧中心の「近代」理解の偏向を正すカリキュラム研究など、研究の新展開を前にした時代にあるように思われる。そこで、若手の問題意識のある研究者に、各自の観点から問題提起をしていただき、今後のカリキュラム研究の方向を探りたい。

## 2) 公開シンポジウム

(テーマ) 「カリキュラムを創る教師の力」

(世話人) 児島邦宏(東京学芸大学)、浅沼 茂(東京学芸大学)

(提案者) 小林宏己(東京学芸大学)、藤原和博(東京都杉並区)、磯田文雄(筑波大学)

## (2) 学会誌第14号編集状況の件

編集委員より、編集作業は順調であること、第14号では計7編の論文と、台湾のカリキュラム研究の状況、および書評が掲載されることが報告された。

## (3) 「学会賞」の件

2004年度学会賞については、理事よりの推薦(2月末日締め切り)を検討の結果、審査対象者が1名あり、審査委員会を構成して審議に入るようになった。

## (4) 理事選挙の件

従前どおり、規定に則り選出を行うこととし、3月1日に選挙管理委員会が発足したことが安彦代表理事より報告され、これを受けて被選挙人名簿の確認がなされ、選挙日程を4月12日から約1ヶ月とすることに決定した。

(5) その他

1) 国際交流委員会より、学会誌第15号では、シンガポールにおけるカリキュラム研究の動向について、国立教育学院の周恩愛博士と山梨県立大学の池田充宏助教授に原稿を依頼したことが報告された。

また、それ以降については、候補としてオーストラリア、タイの名が挙がっているが、次年度の新しい委員会において検討されることが報告された。

2) 浅沼実行委員会事務局長より、国際カリキュラム学会の大会(公用語は英語)が来年10月頃、フィンランドのヘルシンキにて開催されることが報告された。

3) 次回理事会を第16回大会期間中(6月17日)に開催することを確認した。

< 事務局から >

(1) 平成17年度分 会費納入のお願い

年度が変わりました。平成17年度分の年会費の納入をお願いします。本学会の誇りの一つである高い納入率を維持するためにも、納入促進に会員のみなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。既納の方には、振込用紙は同封しておりません。

本年度までの学会費未納の方は、宛名ラベルのお名前の下に、未納年度を記載しております。同封の振込用紙をご利用になり、できるだけ早く納入してください。

(年会費：一般6,000円、学生3,000円、法人10,000円)

(2) 未納年度の処理方法の変更のお知らせ **重要**

従来、年会費に未納年度がある場合は、払込みいただいた年会費を未納年度に振り替えておりました。3月末に会員情報管理のデータベースシステムを更新した際、過去未納分の個別扱いが可能になり、平成17年度4月1日以降の払込について、「払込取扱票」の本人記載による年度分として処理し、未納年度を改めて請求する形にします。事務局からのニューズレター発行(年3回)の宛名ラベル下段に、状況を記載させていただきます。なお、未納年度がなく、同一の年度に重複して払込みいただいた年会費は、従来どおり次年度分以降に自動的に振替させていただきます。

(3) 退会手続きについて

退会は、事務局宛に氏名、住所、所属ならびに退会希望年度をご連絡いただければ、手続きを開始いたします。こちらから、確認の連絡はいたしません。自動的にその月で退会となります。ただし、年1回発行の学会誌の発送手続きの開始後(7月)に退会をお申し出の方には、その年度の年会費は納入していただきます。もし、年会費納入ができない場合には、お手元に届きました当該年度の学会誌を事務局までお送りください(返送の送料はご負担願います)。学会誌の在庫管理のため、余剰は少なく印刷しております。どうぞよろしくご理解いただきたく存じます。

(4) 学会ホームページの充実について

事務局では、学会ホームページの充実に努めております。つきましては、ホームページについて、みなさまのご意見、ご感想をお寄せいただけますと幸いです。

(5) 学会員名簿ならびに住所変更の届けについて

会員名簿をお手元にお届けしました。修正箇所等ございましたら、最終ページのフ

アクション送信票をコピーの上、記入の上、事務局宛お送りください。

また、連絡先住所、ご所属等が変更になった場合も、上記用紙もしくは学会 Web Site の「会員（入会等）」のページ下部から住所変更用紙を利用し、事務局までお送りください。

（６）理事選挙の件

3月1日に選挙管理委員会が発足し、投票に向けて準備が始まっております。詳細は、選挙管理委員会からの連絡をお待ち下さい。なお、役員選出規定により、前年度（平成16年度）までの会費未納者は、選挙権ならびに被選挙権の資格を失います。

（７）学会編集の『現代カリキュラム事典』が再版されました！

本学会創立10周年を記念して刊行された『現代カリキュラム事典』（ぎょうせい刊、総552頁、2001年発行）が、お陰さまで初版をほぼ売り切り、再版されることになりました。ついては、まだ購入していない方は、現在の学校現場でますますカリキュラム編成の力量が必要とされている状況下ですので、手許におくべき必須の文献として、ぜひ個人的にも、学校や大学という組織としても、購入活用していただきたいと希望します。なお、次のメールアドレス [eigyo@gyosei.co.jp](mailto:eigyo@gyosei.co.jp) に注文すれば、直接送本してもらえます。

大会に関する問い合わせは、下記の大会準備委員会まで。

日本カリキュラム学会 第16回大会 ご案内（再掲）

- ・会場：東京学芸大学（184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1）
- ・日時：平成17年6月18日（土）、19日（日）
- ・大会プログラムの発送は、5月20日予定（自由研究発表の申込締め切りは、3月31日）
- ・大会事務局への連絡メールアドレス：[jscs2005tgu@mail.goo.ne.jp](mailto:jscs2005tgu@mail.goo.ne.jp)  
お問い合わせはできるだけ、E-mail でお願いたします。
- ・大会開催校連絡先：〒184-8501 小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学 総合教育科学系  
日本カリキュラム学会第16回大会準備委員会
- ・大会準備委員会事務局電話：浅沼 茂 Tel: 042-329-7351、橋本美保 Tel: 042-329-7352  
山田雅彦 Tel: 042-329-7338

〒169 8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1  
早稲田大学教育学部内

**日本カリキュラム学会 事務局**

TEL & FAX 03-3204-9246  
or 03-5286-1561

振替口座番号：00880 0 69090

E mail：[jscs@nifty.com](mailto:jscs@nifty.com)

学会 URL：

<http://www.edu.waseda.ac.jp/~jscs/index.htm>